

株式会社日本農業サポート研究所 平成28年度事業実績

年	月	事業内容
2016年～ 2017年	6月～3月	革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)「スマートマルチドリ方式技術体系の確立と高品質カンキツ生産支援の実証」で、農研機構、民間企業、愛媛県・香川県の研究機関・普及指導センター・JAなどによるコンソーシアムに参画し、弊社は、「ICTシステムの設計・活用方法支援と満足度の評価」について実証試験を行った。
	8月中旬	福島県JA夢みなみから委託され、タイ・バンコクで、輸出向けJA夢みなみ産農産物の市場調査を行った。
	7月～2月	弊社がJA徳島中央会から若手営農指導員のための研修を受託し、7月～2月まで「毒物劇物取扱者の資格対策」「販売・企画力」「営農指導方法」などの講義・実習をJA徳島中央会のある徳島県JA会館で行った。 また、11月の派遣型研修では、徳島県の若手営農指導員の方々が、神奈川県JAさがみを訪問し、JAさがみの職員の方々と交流した。直売所(「わいわい市藤沢店」)、「アイメック農法」を取り入れているトマト農家「湘南佐藤農園」を訪問した。さらに、JA埼玉ひびきの本庄営農経済センターを訪問し、ブリッコリー一部会長やJA埼玉ひびきのの営農指導員などと交流した。
	8月下旬	福島県JA夢みなみから委託され、タイ・バンコクで、輸出向けJA夢みなみ産農産物の市場調査を行った。
	9月下旬	神奈川県で「平成28年度普及指導活動外部評価」が行われ、弊社代表が評価委員として出席、とりまとめに携わった。
	12月中旬	東京農業大学国際食料情報学部国際バイオビジネス学科3年生の学生を対象に、稲泉博己先生担当『バイオビジネス普及論』の特別講義で、弊社代表が「タイでの農業ICTプロジェクトの結果と教訓」「日本の普及事業でのIT活用」「農業技術学習支援システム(AI学習システム)を利用した普及指導員の育成と普及活動」の3つのテーマで、普及活動でのICT活用の可能性について講義を行った。
	2月～3月	平成28年度農林水産省補正予算事業「革新的技術開発・緊急展開事業のうち人工知能未来農業創造プロジェクト推進事業 1 熟練農業者の技術を継承するシステムの横展開」を弊社が事務局を務める全国農業指導ネットワーク協議会(理事長:山田正美氏)が受注。この事業はGAP、水稻の特別栽培や野菜の有機栽培について、熟練農業者の知識、ノウハウを学習できるシステムをつくる事業である。タブレットを使ったGAP・特裁・有機農業学習システムの講習会などを福井県越前市と高知県高知市で開催した。